

## 会員のみなさんへ 「協育」ネットの方向性を確認！

NPO法人大分県「協育」アドバイザーネット理事

私たちの「協育」ネットも、園部前理事長を中心にして、単に例えると「車庫を出て、通りを走り始めた」ところまで来ました。今回の役員改正で、新理事長を中心として「いかにして目的地まで順調に走っていくか」という時期になったと考えています。そのために、本会が、会員から求められ、会員を取り巻く周囲の方々から「いい会ですね！」と言われる「協育」ネットを目指すために、新理事体制が出来た今、会員みんなで本会の目的を再確認したいと思います

### 1. 「協育」ネットの柱

「教育の協働」(協育)を進めるのは一人では無理です。同じ思いを持つ仲間が「高まる」「繋がる」「広がる」ことがとても大切で、「協育」ネットはこの3つの柱を旨とした団体です。

### 2. 仲間が私を高める

アドバイザー養成講座の研修は、学びの入り口です。初めての出会いで仲間となって、意を1つにして活動することはなかなか難しいものです。本当に自分が高まり、自分の活動が子どもや地域を創っていくには、会員の情報の共有をとおして、相互の協力や自分の活動に他の会員の手法を取り入れるなど、自らが努力し高まっていく必要があります。事務局は、そのために「会報」を定期的に発行し、3つの柱に向かってモデル的に行う「協育」ネットの活動とともに、会員の活動情報をお届けしています。1度学んだことが「どこでも」「誰にでも」通用しません。会員が学びと経験を重ね、会員自らが自分の周りの仲間を作り、それぞれの地域で活動を充実していくことを支援する「仲間」のNPO法人です。

### 3. 私たちへの「報酬」

仲間との学びを1つでも生かして、会員の方々が地域で行う活動が、子どもたちや地域の方々がこれまで出来なかった様々な学び、地域づくりの活動のネットワーク化が進むことは素晴らしいことではないですか。そのためには私たちは皆さんの前に出ることもありますが「黒子」になることが必要なこともあります。主体は、会員自らではなく、会員の方々が行う活動に参加された人々です。参加された人々の笑顔と喜びが私たちへの「報酬」だという気持ちがとても重要です。このことが基本だと考えています。

### 求められるNPOになるためには

会員相互の信頼と協力が必要です。そのことによって期待される地域のリーダーとなっていくこともあるでしょう。注意したいことは、人や活動を非難して生まれるものは「後の後悔」です。人はそれぞれ、生まれや育ってきた環境の違いによって持っているものや考え方が違います。「違う」ということを前提で仲間として学び合い、地域の方々と交わり、認め合うことが大切です。特に、本会の中心となる私たち理事の意識の共有は不可欠ですので、互いに信頼して会員の方々の活動支援と、3つの柱に沿った事業に取り組んでいきます。

## 事業報告

### 人と本を結ぶ読書支援プロジェクト「ゆい(結い)」

理事 佐藤 真由美 (2期生)



学生読み聞かせグループ「ゆい(結い)」は、2012年に発足し、現在10名で活動しています。私は、2010年より学習ボランティアの一環として、読み聞かせの話をさせていただいておりますが、単位が取れた後も数人の学生さんたちが、ボランティアとして読み聞かせを続けてきました。4人の留学生が日本語で絵本を読んでくれた年もありました。この会は、絵本大好き、子ども大好きな学生さんたちが立ち上げた会です。月に1度の勉強会では、絵本について語り合い、実演の報告をし、その経験を共有しながらお互いに高め合っています。大分市府内子どもルームは6年目。先日急遽、私が入ったら「次は学生さんが来てくれますか？」と男の子を連れてきたママに言われ、少し複雑な気分になりながらも誇らしく嬉しくなりました。また、国東市富来小学校から、昨年に続き2年目の依頼を受けました。「読書バイキング」という形式で行われ、読み手としては自分の所に聞きに来てくれるかな～と不安になったりしますが、聞き手は自ら選んでくれるので一生懸命聞いてくれます。さらに今年は、パークプレイス大分「あおぞら図書館」からの依頼もあり「びっくり!!」をテーマに1日2回の読み聞かせをしました。屋外の読み聞かせは、彼女たちにとって初めての経験でしたが、聞きに来てくれた人たちとしっかりとお話を楽しめていました。緊張もしもしているはずなのに、素敵な笑顔で絵本を読んでいる学生さんたちにはいつも感心しています。これからも素晴らしい絵本と出会い、それを通じて出会った多くの人たちとの時間を大切にしたいと思います。



(富来小学校)



(校長先生と事前打ち合わせ)



(富来小学校の皆さん)



(方言のえほんの部屋)



2015年度1回目の会員さん活動紹介は協育ネット理事の佐藤真由美さんが主宰する「ゆい(結い)」の活動取材してきました。結いは学生ボランティアの一環として読み聞かせをしています。今回は国東市の富来小学校PTAのお招きで2人の学生さんを連れての訪問！昨年に続き2回目だそうです。読書バイキングって何？って方にちょっと説明、今回は3つの教室にファンタジーのへや・方言絵本のへや・こわい話のへや を作ります、ここに 結い のメンバーがその内容の絵本を読んでいきます、参加者は自分の聞きたい部屋に行ってお話を聞きます。およそ20分で10分の休憩と部屋の移動時間を取りますので皆さんは思い思いに移動して読み聞かせを楽しみます。富来小学校は保護者や学校が子ども達の読書に熱心に取り組んでいます。今回の参加した子ども達は日曜日なのに80%の参加率です。私も久しぶりに本の読み聞かせを聞いて幸せな気持ちになりました。今回参加してくれた学生の皆さんにも後日参加した感想を頂きましたので掲載します。感想には取材には行けませんがパークプレイス大分「あおぞら図書館」での読み聞かせに参加した学生の感想もあわせて掲載しています。 会員の皆さんも読み聞かせ活動に参加してみませんか？(広報部 上原)



大分大学 教育福祉科学部3年  
田中 琴音

富来小学校の「読書バイキング」で私は『ファンタジー』を担当しました。子どもたちや保護者の方々が真剣に聞いてくださる様子が伝わってきて、とても嬉しかったです。これまでは、赤ちゃんから3歳くらいのお子様しか読み聞かせをする機会がなかったので、良い経験となりました。素敵な一日をありがとうございました。



2015年9月6日(日)  
パークプレイス大分「あおぞら図書館」  
での読み聞かせに参加して！

大分大学 工学部2年 高木 日名子

パークプレイス大分「あおぞら図書館」で読み聞かせをする機会を頂きました。野外で読むのは初めてでしたが、スタッフの方々のお陰でよい環境で楽しく読むことができました。来てくださった子どもさんをはじめ皆様、大変よく聴いて下さり、参加型の紙芝居では一緒に楽しんで下さったので、私もやりやすく楽しく読み聞かせをさせてもらいました。

大分大学 経済学部4年 外池 夏子

商業施設のイベントとしての読み聞かせは初めての経験でした。「どんな子がくるのだろう？」と不安でしたが、いざ読み始めると子どもだけでなく、お父さんやお母さんも絵本の世界に引き込まれているのが分かり、さらに絵本を通して親子の心が通じ合っているように感じました。私自身も幸せな気分になりました。



大分大学 教育福祉科学部3年  
坂本 花保里

富来小学校での読み聞かせで私は『怖い話』を担当しました。まず選書の段階で、どの程度まで怖くていいのかと悩みましたが、小学生が相手ということで、怖い話でも後味良く終わる話を意識して選びました。読みながらあまり怖くなかったかなと思いましたが、読み終わった後で「怖かったあ」と言ってくれたのでよかったです。

## 『子どもと本と私と・・・』 2015年9月27日(日)



(首藤 富久恵先生の講演)



(参加者の質問)

理事 佐藤 真由美

9月27日13時より大分大学旦野原キャンパスにおいて、大学と共催による講演会を行いました。読み聞かせボランティアさんだけでなく、学校図書館支援員さん、公共図書館の司書さん、教育委員会の職員さんなど多くの参加をいただきました。講師の首藤富久恵氏には「子どもと本と私と・・・」と題しまして、御自身が子どもと本の時間で思ったこと、感じたこととお話していただきました。特に25年以上にわたり、九州ガンセンター院内学級のお子さんたちにお話と本を届けてこられた経験談は、氏にとってもお話されるのは今回が3回目という貴重な内容で、私たちに子どもと本に向き合う時の姿勢を改めて考える機会を与えてくださいました。また、失敗談も惜しげもなくお話くださり、これからの日々の活動に大変参考になりました。「ブックトーク研究会」の代表を務める首藤氏ですが、ブックトークだけでなく、多方面における読書支援に取り組まれています。ストーリーテリングもその一つですが、今回ご講演の中で実演をしてくださりました。「お話を3つ聞くことができ、本当に楽しく癒されました」などの感想をたくさんいただいています。私どもの企画にたいしても「堅苦しくなくリラックスして聞けました。このような講演会が良いなあと思いました」など嬉しい感想もくださっています。

### 事務局よりお知らせ

平成27年度大分大学高等教育開発センター『協育』アドバイザー養成講座【上級編】参加者募集中！

本研修は、県内外での「教育の協働」を推進・実践する先進地を視察し、地域づくりや青少年の健全育成に関する中心的指導者・コーディネーターとしての資質を向上させ、以て、「教育の協働」の推進に関するアドバイスの力量を高めることを目的としています。

主催 大分大学高等教育開発センター

期日 平成27年12月3～4日(木・金曜日)

9:00 大分大学 登(1泊2日)

17:00 大分大学着 \* 宿泊は奥阿蘇の宿「やまなみ」(申し込み締め切り10月14日)

詳しくは協育ネットHP  
新着情報をご覧ください。



<https://kyouikunet.sakura.ne.jp/>